



みよし剛史



塩沢みつえ

発行：日本共産党  
福山市議会議員団  
津之郷町津之郷 970-1  
084-952-2662

# 学校給食無償化 福山市でも実現を

## 6224人の署名提出



8月29日、新日本婦人の会福山支部と福山市母親大会実行委員会の方々から、「学校給食への公的補助を強め、完全無償化を求める請願」が、6224筆の署名とともに福山市議会議長へ提出されました。

議事調査課長が対応し、塩沢みつえ市議が紹介議員となりました。同主旨の議会請願が昨年12月に提出されていました。が、12月と3月の議会では賛否を明らかにせず、継続審査としていましたが、4月に市議の改選を挟んだため、事実上の廃案扱いとなっていました。



今回の署名提出は、前回提出分よりも3000筆以上も上積みされており、給食無償化への市民要望が依然として高いことが示されています。

## 722自治体 すでに無償化実施

文科省による学校給食費の無償化の全国調査結果によると、昨年9月時点での公立小中学校等で給食費の無償化を「実施中」と答えた自治体は722自治体で、全体の約4割にも達しています。「義務教育は無償とする」という憲法の理念が大きく前進しています。

## 文教経済委員会報告 繋がらない 不登校937人

9月2日に行われた文教経済委員会で、2023年度の不登校児童・生徒うち、学校内外の専門機関等で相談や指導を受けたことがないケースが937人にもものぼることが明らかにされました。

この状況の改善のために、教育委員会内に6名の不登校支援チームを設置し、専門の相談機関等へつながるよう相談体制を見直すこととしています。

## 避難場所の体育館 停電対応に課題

市内25校の体育館の電気設備に発電機を接続できるようにする工事の設計委託契約の内容が公表されました。大規模災害によって停電した体育館に、発電機で電力を供給可能にするものです。

学校体育館の多くは緊急避難場所に指定されていますが、現状では災害時の停電に対応できない施設が多く含まれるという課題が明らかになっています。

今後3年間で25校は設備工事が進められる予定ですが、大規模地震や豪雨災害など、自然災害への備えが一層求められています。みよし市議は一刻も早い対応を求めました。

請願は今後、本会議で取り上げられ、文教経済委員会で審議されることとなります。

〔不登校のうち学校内外の専門機関等で相談・指導を受けていない児童生徒数等〕

上段：人数(人) 下段：不登校に占める割合 (%)

		2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)
小学校	市	62 (31.0)	130 (50.0)	159 (46.8)	220 (51.3)	410 (64.0)
	国	13,133 (24.6)	19,354 (30.6)	26,934 (33.0)	36,646 (34.9)	—
中学校	市	199 (44.9)	217 (55.6)	308 (55.7)	360 (49.9)	527 (57.3)
	国	40,460 (31.6)	47,940 (36.1)	61,997 (37.9)	77,571 (40.0)	—

※専門機関等とは、学校外の機関（教育委員会所管の機関、児童相談所、保健所、病院、民間施設等）と学校内の専門的教職員（養護教諭、スクールカウンセラー等）を言い、担任等は含まない。